

# 2026年度 静岡大学 特別教育プログラム

英語特別教育プログラム  
グローバル・アジア特別教育プログラム  
静岡大学アクティブラーナー特別教育プログラム  
防災マイスター  
ABP4月特別教育プログラム(ABP4月)  
国際日本学副専攻プログラム  
カーボンニュートラル特別教育プログラム  
実践データサイエンス育成プログラム  
コミュニケーション英語技術習得プログラム  
外国語副専攻プログラム



国立大学法人  
**静岡大学**

# 特別教育プログラムとは

現代社会では、グローバル化や人口減少、産業構造の変化等と連動した社会変動が起きており、その社会変動のなかで浮かび上がる課題と向き合って私たちは生きていきます。変動する社会の課題に対応するためには、皆さんが所属する学部教育の専門分野の知識やスキルだけでは十分でないかもしれません。

そこで、静岡大学では、現代社会の様々な課題に対応可能な知識・スキルを学習したり、グローバル化に対応したスキルの獲得を目指したりする「特別教育プログラム」を提供します。

特別教育プログラムは、静岡大学の教養教育、専門教育で開講されている複数の授業科目を、学習テーマやスキルアップの観点から関係性を整理し、科目をパッケージ化したものです。

履修に際しては、それぞれのプログラムの学習目標をよく読み、必要性を理解した上で主体的に履修してください。

特別教育プログラムを履修することによって、それぞれの興味関心に合わせた主体的な学びが広がり深まることを期待します。

全学教育基盤機構長

## 履修可能な特別教育プログラム

- 英語特別教育プログラム
- 静岡大学アクティブラーナー特別教育プログラム
- ABP4月特別教育プログラム (ABP4月)
- カーボンニュートラル特別教育プログラム
- 実践データサイエンス育成プログラム
- コミュニカティブ英語技術習得プログラム
- 外国語副専攻プログラム (ドイツ語・フランス語・中国語・現代韓国語・スペイン語の5副専攻)
- グローバル・アジア特別教育プログラム
- 防災マイスター
- 国際日本学副専攻プログラム

詳細は理学部学務係にお問い合わせください  
054-238-4717

詳細は  
人文社会科学部学務係に問合せください  
054-238-4485

## 申請方法等・各プログラムの詳細



詳しくは、下記のURL (大学教育センターウェブサイト) をご覧ください。

<https://web.hedc.shizuoka.ac.jp/student/special/>

## 特別教育プログラムの注意事項

**Q.** 学部の専門科目と特別教育プログラムの科目の時間割が重複していて、修了要件が満たせないことはありますか。

**A.** 国際日本学副専攻プログラムに含まれる人文社会科学部の専門科目以外は、自分の学年を対象として開講される特別教育プログラム科目(教養科目)が専門科目と重複することは原則としてありません。

**Q.** 修了見込みは発行されますか？

**A.** 一定数以上の単位取得など、各プログラムが定めている条件を満たした場合に、修了見込みであることを示す書類を発行します。詳細は、各プログラムの方針にしたがってください。

**Q.** 修了証の発行申請はどのようにすればよいですか？

**A.** 毎年、特定の時期に案内が出されますので、その案内にしたがってください。

**Q.** 途中で続けられなくなった場合でも、不利益は被りませんか？

**A.** 各プログラムを修了しなかった場合(卒業時まで各プログラムの修了要件を満たさなかった場合)でも、不利益を被ることはありません。

**Q.** 卒業に必要な単位数以上の単位を取得することになるでしょうか。

**A.** 場合によっては、卒業に必要な単位数以上の単位を取得することになります。修了要件等をご確認ください。

**Q.** 各プログラムの修了要件を教えてください。

**A.** 次ページ以降の各プログラムの修了要件をご参照ください。加えて、いずれのプログラムに関しても、卒業に必要な単位を取得することが必要です。

## 概要と目的

留学や英語が頻繁に使われる国内外の企業に就職を希望する等、高度な英語力の修得を望む学生のためのプログラムです。

教養英語必修科目を含め、開講されている多くの教養英語選択科目を履修することで、英語資格試験対策や英語圏への留学準備の対策も目標とします。

所属学部に関係なく履修できます。また英語に興味があり、静岡大学で英語力を向上させたいと考えている学生には最適の内容となっています。

## 履修資格と履修手続き

- 特に必要な履修資格はありません。本学学生であれば履修することが可能です。
- 本プログラムへは登録申請が必要です。  
登録申請等の詳細は、次ページにあるウェブページを確認してください。

### 履修モデル A (一般モデル)

	前期	後期	合計単位数
1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語コミュニケーション(2単位)</li> <li>・基礎英語A(1単位)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合英語IA(2単位)</li> </ul>	5単位
2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合英語IIB(2単位)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語演習(1単位)</li> <li>・アカデミックイングリッシュ(2単位)</li> </ul>	5単位
3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合英語III(2単位)</li> <li>・ビジネスイングリッシュ(2単位)</li> </ul>		4単位
合計履修単位			14単位

## 履修モデル B (上級レベルモデル)

	前期	後期	合計単位数
1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語コミュニケーション (2単位)</li> <li>ESP I (留学) (2単位)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESP II (地域) (2単位)</li> <li>総合英語IA (2単位)</li> </ul>	8単位
2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合英語II B (2単位)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語演習 (1単位)</li> <li>アカデミックイングリッシュ (2単位)</li> </ul>	5単位
3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合英語III (2単位)</li> <li>ビジネスイングリッシュ (2単位)</li> </ul>		4単位
集中講義 英語海外研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語インテンシブA/B/C/D (2単位) または</li> <li>英語海外研修A/B (2単位)</li> </ul>		2単位
		合計履修単位	19単位

## 修了要件

修了には以下の条件を満たす教養英語科目**合計12単位**  
以上が必要です

- 「英語コミュニケーション」(2単位) + 「英語演習」(1単位)を含む
- 「総合英語III」(2単位)を含む
- 以下の科目の中から4単位以上を含む
  - 「ESP I」(2単位) 「ESP II」(2単位)
  - 「アカデミックイングリッシュ」(2単位) 「ビジネスイングリッシュ」(2単位)
  - 「英語インテンシブA/B/C/D」(2単位) 「英語海外研修A/B」(2単位)



## 登録申請等の詳細

下記のURL (大学教育センターウェブサイト) をご覧ください。

<https://web.hedc.shizuoka.ac.jp/special-english/>



問い合わせ先

静岡キャンパス

教務課教務係 (共通教育A棟2階)

☎ 054-238-4259

浜松キャンパス

教務課共通教育係 (S-port 1階)

☎ 053-478-1006



## 概要と目的

グローバル・アジア特別教育プログラムは、幅広い視野と国際的な感覚を身につけることを目的に、「**留学生とともに**」学ぶグローバルプログラムです。「留学生とともに」国際経験豊かな教員から「**英語で学ぶ**」ことによって、将来グローバルリーダーとして、日本やアジア、世界で活躍するための知識とコミュニケーションスキルを身につけます。

ABP科目として指定された、①教養領域A・Bの科目(教授言語:英語)から4単位以上、②学際領域科目(教授言語:英語・日本語どちらの科目も履修可能)から4単位以上、③英語科目(「ESPI(留学)」[「ビジネスイングリッシュ」])から0単位以上を履修し、計12単位以上を修得。加えて④海外研修2単位、⑤修了研究1単位を修得し、合計15単位修得すると、修了証書が発行されます。

海外研修は、これまでインドネシア、タイ、ベトナムで実施されており、日本企業の海外拠点での研修やグローバル・リーダーからの講義等を受ける機会があります。

## 達成目標

- ・国際業務を行う上で必要なスキル・語学力を養うことができる。
- ・卒業後は、静岡県企業を始めとする日系企業のグローバル展開を推進したり、アジア諸国の拠点における生産・販売・営業に携わったり、さらにこれらを通して現地での社会貢献を行うなど、アジアを中心とする世界と日本の架け橋となることが期待されます。

## 履修資格と履修手続き

- TOEIC®L&R(入学1年前の4月1日以降に受検したもの)で550点以上を取得していることが必要です。
- 本プログラムを履修する際は、所定の申請書(別紙様式)に必要事項を記入し、TOEIC®L&RのOfficial Score Certification(公式認定書)の写しを添えて、次ページの申し込み/問い合わせ先に提出してください。

## 履修モデル1：静岡キャンパス

〔※〕は集中講義

履修年次	教養領域(教授言語：英語)	学際領域	英語科目	海外研修・修了研究	合計単位数
1年生	・ことばと表現(2単位)	・静岡でグローバルキャリアを考える(2単位)※	・ESPI(留学)(2単位)		(左の授業科目から)計4単位
2年生	・経済と社会(2単位) ・地域と文化(2単位)	・Global Business Studies(2単位) ・日本事情(2単位)		・海外研修(2単位)※	(左の授業科目から)計6単位
3年生	・生命科学(2単位)	・東南アジアセミナー(2単位)※ ・Migration in Asia(2単位)	・ビジネスイングリッシュ(2単位)	・修了研究(1単位)※	(左の授業科目から)計5単位

## 履修モデル2：浜松キャンパス

履修年次	教養領域(教授言語：英語)	学際領域	英語科目	海外研修・修了研究	合計単位数
1年生	・現代の社会B(2単位) ・自然と物理(2単位)	・静岡でグローバルキャリアを考える(2単位)※	・ESPI(留学)(2単位)		(左の授業科目から)計4単位
2年生	・地域の文化と歴史A(2単位) ・生物と環境(2単位)	・Global Business Studies(2単位) ・日本事情(2単位)		・海外研修(2単位)※	(左の授業科目から)計6単位
3年生		・東南アジアセミナー(2単位) ・Migration in Asia(2単位)	・ビジネスイングリッシュ(2単位)	・修了研究(1単位)※	(左の授業科目から)計5単位

## 修了要件

- 定められた講義演習科目(海外研修科目、修了研究含む)の単位を計15単位以上修得すること。

※必修科目である「ABP修了研究」は、TOEIC®600点以上取得者が履修することができる。



## 履修の詳細

- 詳細は下記のウェブサイトを参照ください。
- <https://www.suoic.shizuoka.ac.jp/student/abp-minor/>

履修していた先輩の体験談も掲載されています。



申し込み/  
問い合わせ先

国際課 [global@adb.shizuoka.ac.jp](mailto:global@adb.shizuoka.ac.jp)

静岡キャンパス (共通教育A棟4階)

054-238-3065

浜松キャンパス (S-port 1階)

053-478-1631



## 概要と目的

本プログラムは、キャリア形成に関する科目を体系的に履修、学修することによって自律的キャリア形成に向けた知識を獲得し、大学4年間の学びをより意義深いものとするを旨とするプログラムです。

1. 大学での学びを自分自身のキャリア形成の中に位置付けて考えることで、高い動機付けのもとに4年間学び続けること
2. 現代社会についての知識を獲得することによって、自分自身のキャリア形成を社会との関係の中で捉えられるようになること

以上の2つを目的として設定しています。将来的には、自分自身のキャリア形成だけでなく、他者のキャリア形成に資する考えや視点、あるいは人々のキャリア形成にとってよりよい社会とはどのようなものかを考えられる知識を持つことを展望しています。

## 達成目標

- ・ 大学4年間における学びを自分のキャリア形成の中に位置付けて考えることができる。
- ・ 現代社会の現状についての知識を持ち、それらを自分のキャリア形成と関係づけて捉えることができる。

## 履修資格と履修手続き

- 本学の静岡キャンパスに在籍する学生が履修できます。
- 本プログラムを履修する際は、申請が必要です。次ページに示した詳細ホームページを確認してください。

## 履修モデル

履修年次	講義・演習科目 (必修)	実習・インターンシップ科目 (選択)	講義・演習科目 (選択)	課外活動 (必修)
1年生	・キャリアデザイン (1単位)			
2年生		・学部インターンシップ科目 (1単位 or 2単位)	・地域連携プロジェクト型セミナー (2単位) ・高等教育と入試広報 (2単位)	
3年生				・キャリアに関するイベントへの参加 (120分以上) ・小論文 ※

※本プログラムの学習から得た成果(どのような経験からどのような学びや成果が得られたのか)を記載したレポートを提出

## 修了要件

- 指定された講義・演習科目および実習・インターンシップ科目の**単位修得 (計6単位以上)**と、**キャリアに関するイベントへの参加 (計120分以上)**、**小論文課題の提出**が必要です。



## 詳細・申し込み等

下記のURL (大学教育センターウェブサイト)をご覧ください。

<https://web.hedc.shizuoka.ac.jp/special-active-learner/>



問い合わせ先

静岡キャンパス

教務課教務係 (共通教育A棟2階)

☎ 054-238-4259



## 概要と目的

静岡大学防災マイスター称号制度は、一定レベルの防災知識を備えた学生を養成して社会に送り出すために、2011年度に立ち上げられました。このプログラムでは、静岡県を含む広い地域で危惧される南海トラフ地震をはじめとする自然災害に対する科学的な知識を有し、それに基づいて災害時に自己や他者の生命と災害後の生活を守る上で有用な、防災知識・スキルを獲得することを目標としています。

本プログラムは防災総合センターが中心となり、所定の科目を履修し授与を申請した学生に「静岡大学防災マイスター」の称号を与えるものであり、2024年度までに164名が「静岡大学防災マイスター」の称号を得ました。

なお、本プログラムの修了(称号取得)対象者は、静岡県の認定講習(例年2月中旬/半日程度)を受講することにより、静岡県知事認証「静岡県防災マイスター」の称号を得ることができます。対象のほぼ全員が認証を得ています。

## 達成目標

- ・ 静岡県を含む広い地域で危惧される南海トラフ地震をはじめとする自然災害に対する科学的な知識を有し、それに基づいて災害時に自己や他者の生命と災害後の生活を守る上で有用な防災知識・スキルを獲得すること。
- ・ 教育学部にあっては、それを学校安全の推進に活用できる能力を獲得すること。

## 履修資格と履修手続き

- 特に必要な履修資格はありません。本学学生であれば履修することが可能です。
- 本プログラムのガイダンスが4月と1月に開催されますので、取得を希望される方は参加してください。(ガイダンスの案内は、学務情報システムによるメール等でお知らせします。)ご質問がある場合は、防災総合センターへお問い合わせください。
- ガイダンスに参加した上で、「静岡大学防災マイスター授与にかかる単位取得計画書」と申請者登録用紙を作成し、所定の期間内に防災総合センターに提出してください。

※諸事情によりガイダンスに参加できなかった場合は、防災総合センターウェブサイトガイダンス資料を掲載していますので、参照の上、単位取得計画書等を提出してください。

## 履修モデル1：静岡キャンパス

履修年次	必修科目(4単位)	選択必修科目(4単位以上)	選択科目(4単位以上)	合計単位数
1年生			・総合人間科学概論(2単位)	計2単位
2年生	・大規模自然災害の科学(2単位) ・安全とリスクの心理学(2単位)	・地域社会と災害(2単位)		計6単位
3年生		・地震防災(2単位)	・静岡県の防災・減災と原子力(2単位)	計4単位

## 履修モデル2：浜松キャンパス

履修年次	必修科目(4単位)	選択必修科目(4単位以上)	選択科目(4単位以上)	合計単位数
1年生			・心理と行動A(2単位)	計2単位
2年生	・災害のリスクマネジメント(2単位) ・大規模自然災害の科学(2単位)	・地震防災(2単位)		計6単位
3年生		・静岡県の防災・減災と原子力(2単位)	・エネルギーと環境(2単位)	計4単位

## 修了要件

- 必修科目4単位・選択必修科目4単位以上・  
選択科目4単位以上の**合計12単位以上**の取得
- **修了レポート**の提出と合格

※認定条件を満たしたのち、「静岡大学防災マイスター称号授与申請書」及び単位取得確認書類を提出してください。



## プログラム詳細

[https://www.cnh.shizuoka.ac.jp/education/#section\\_07](https://www.cnh.shizuoka.ac.jp/education/#section_07)



問い合わせ先

静岡キャンパス

防災総合センター(大会会館1階)

☎ 054-238-4502

✉ [meister.office.shiz@shizuoka.ac.jp](mailto:meister.office.shiz@shizuoka.ac.jp)

浜松キャンパス

工学部教務係(S-port1階)

情報学部教務係(S-port1階)

☎ 053-478-1010

☎ 053-478-1510

✉ [bousai-hama@shizuoka.ac.jp](mailto:bousai-hama@shizuoka.ac.jp)



## 概要と目的

本学では、国際展開をする静岡県の企業や自治体との連携の下、静岡とアジア諸国の架け橋として活躍する「理工系の専門性+経営学的思考、文系の専門性+理工学的思考を持つ技術と経営を俯瞰できる中核・中堅人材の育成」を目的として「アジアブリッジプログラム(ABP)」を実施し、優秀な学生の募集、育成、人材輩出を通して、静岡の地域と産業の国際活動の活性化への貢献を目指しています。令和5年度より、10月入学のABP学士プログラム(ABP10月)に加え、私費外国人留学生を対象に、グローバル関連科目等の受講、ABP日本就職コースへの登録、国際交流活動からなるABP4月特別教育プログラムを開始し、ABP4月生としてグローバル人材の育成を目指します。

※一定の条件を満たした成績優秀者に対する授業料免除の制度があります。

## 達成目標

- ・グローバルリーダーとして大学や地域で積極的に交流活動を行う。
- ・日本の社会や産業、グローバル企業について理解し、そこで求められるコミュニケーションスキルを身につける。
- ・企業インターンシップや就職支援イベント等を通じて静岡県内の企業等で活躍できるグローバルマインドを身につける。

## 履修資格と履修手続き

- 学士課程の私費外国人留学生選抜を経て本学に入学した私費留学生在が履修できます。
- 本プログラムを履修する際は、国際連携推進機構が実施する当該プログラムのガイダンスに出席したうえで、所定の申請書(別紙様式)に必要事項を記入し、次ページの申し込み/問い合わせ先に提出してください。

## 履修モデル

履修年次	教養基礎科目	教養展開科目	留学生科目	国際交流活動
1年生	・キャリアデザイン [必修1単位] ※工学部は2年次		・日本事情 [必修2単位] ※教育・農学部は2年次	・1回以上
2年生		・Global Business Studies ・静岡でグローバルキャリアを考える [選択必修1科目2単位]	・日本語I～IV [選択必修2科目 4単位]	・1回以上
3年生			・ABPインターンシップ [必修2単位] ※教育学部は教育実習IIで代替可	・1回以上

## 修了要件

- 定められた講義演習科目の単位を計**11単位以上**修得すること。

## プログラム詳細 履修・授業料免除の詳細

- 詳細は下記のウェブサイトを参照ください。

[https://www.suoic.shizuoka.ac.jp/  
international/private-expense/](https://www.suoic.shizuoka.ac.jp/international/private-expense/)



申し込み/  
問い合わせ先

国際課  [global@adb.shizuoka.ac.jp](mailto:global@adb.shizuoka.ac.jp)

静岡キャンパス (共通教育A棟4階)

 054-238-3065

浜松キャンパス (S-port 1階)

 053-478-1631



## 概要と目的

グローバル化する世界で活躍するための基礎——国際的・相対的視点で見た日本の社会・文化・政治・経済に関する知識、および自身の専門分野に関する知識を英語で理解し発信する力——を身につけるためのプログラムです。

留学や仕事で外国に滞在すると、日本の様々な事柄について質問されて、いかに自分が日本のことを知らないか、また多少知っていてもそれを英語で表現するのがいかに難しいかを痛感します。このプログラムを通じて、そのような機会に的確に日本について英語で説明できるようになることを目指します。

具体的には英語で実施される科目を一定数取得し、最低3週間程度の海外留学を行います。最終的にTOEIC®L&R730点取得を目指しますが、英語で実施される授業は協定校の留学生も多く受講しているので、留学生と知り合うチャンスが増え、留学の準備にもなります。

## 達成目標

- ・日本の社会・文化・政治・経済について広く、また自分の専門分野について深く、英語で的確に表現できるようになること。
- ・短期間でも留学を行い、国際感覚を養って、外から客観的に日本を見る姿勢を身に付けること。
- ・大半の企業や官庁が「十分な英語力」の基準にしているTOEIC®L&R730点以上の取得を目指すことで、社会で活躍する足場を作り上げること。

## 履修資格

- 静岡大学全学部生が対象です。
- TOEIC®L&R550点以上を獲得していることが条件になります。

## 履修手続き

- 所定の申請書を人文社会科学部学務係へ提出します。

## 修了要件

- 14単位以上。TOEIC®L&R730点以上(もしくは他の外部英語試験の同等の資格)。

問い合わせ先

人文社会科学部学務係  
共通教育L棟0階

☎ 054-238-4267

## 1. 選択必修科目

区分	小科目区分	授業科目	単位	履修年次	必要単位	備考
人文社会科学部専門科目	人文社会科学部 学部共通専門科目	Basic Lecture in Global Japan Studies I	2	1~3	4単位以上	TOEIC®L&R550 点以上取得者が履修できる。 基本的に英語を使用。
		Basic Lecture in Global Japan Studies II	2	1~3		
		Basic Seminar in Global Japan Studies I	2	2~4		
		Basic Seminar in Global Japan Studies II	2	2~4		
		Seminar in Global Japan Studies I	2	3~4		
		Seminar in Global Japan Studies II	2	3~4		
	海外研修科目	海外研修I	1	1~4	2単位以上	
		海外研修II	1	1~4		
		海外研修III	2	1~4		
		海外研修IV	2	1~4		
		海外研修V	4	1~4		
		オンライン留学I	1	1~4		
		オンライン留学II	2	1~4		
全学教育科目	英語	英語海外研修A	2	1~4	6単位以上	
		英語海外研修B	2	1~4		
	学際科目	ABP海外研修I	2	2~4		
		ABP海外研修II	2	2~4		
		ABP海外研修III	2	2~4		
選択必修科目合計					6単位以上	

## 2. 英語で実施される授業科目

区分	小科目区分	授業科目	単位	履修年次	必要単位	備考
学部専門科目 全学教育科目 教養科目	すべて	(科目一覧、シラバス等で確認)	-	1~4	8単位以上	

## 3. TOEIC®もしくはそれに相当する外部英語試験点数

TOEIC®L&R	TOEFL(iBT)	IELTS	実用英語技能検定(英検)
730点以上	80以上	6.5以上	準1級以上

※「2. 英語で実施される授業科目」とは、講義で使用される言語が基本的に英語主体である科目を言い、単なる英語講読や英語作文等は含まない。本学以外で修得して本学で単位認定を受けた科目を「2. 英語で実施される授業科目」として認定したい場合、シラバス等の提示により人文社会科学部部内国際連携推進委員会が審査する。



修了生にはオープンバッジ  
(デジタル証明書)が発行されます。



## 概要と目的

カーボンニュートラルに関して体系的・包括的に学び、教職員と一体となったキャンパスのカーボンニュートラル化、さらにはカーボンニュートラル社会の実現に貢献し、活躍することができる人材を育成するためのプログラムです。

全学教育科目・学際領域や関連する学部の専門科目を含む多様な領域の科目から構成されています。また、地域の行政・企業などの連携や、キャンパスや演習林などの自然資源や施設を活用したフィールド教育も導入しており、実践的な学びの場を提供します。

## 履修資格と履修手続き

- 特に必要な履修資格はありません。本学学生であれば履修することが可能です。
- 本プログラムへは登録申請が必要です。  
登録申請等の詳細は、「2026(令和8年度)全学教育科目 履修案内」を確認してください。

## 修了要件

- 修了には、本プログラムの必修科目2単位、選択必修科目4単位以上、選択科目6単位以上、合計12単位以上の修得が必要です。

## 履修モデル

履修年次	必修科目(2単位)	選択必修科目(4単位以上) ※1	選択科目(6単位以上)
1年生		<b>【静岡キャンパス】</b> ・地域サステナビリティ概論 〈グローバル共創科学部のみ〉 ・バイオエコノミー概論 ・暮らしの科学	・各学部の専門科目のうち指定された科目 ※2 ・カーボンニュートラル・フィールドワークI・II
2年生	・カーボンニュートラル入門 (全学教育科目・静岡／浜松) 〈グローバル共創科学部のみ〉 ・カーボンニュートラル科学	<b>【静岡キャンパス】</b> ・エネルギーと環境 〈グローバル共創科学部のみ〉 ・地球環境問題と法 <b>【浜松キャンパス】</b> ・わが街・浜松の市政	・各学部の専門科目のうち指定された科目 ※2
3年生		<b>【静岡キャンパス】</b> ・地域共創論 ・静岡県の防災・減災と原子力 ・発酵とサステナブルな地域社会 ・人間環境と分子科学 ・身近な環境と素材の科学 <b>【浜松キャンパス】</b> ・静岡県の防災・減災と原子力 ・エネルギーと環境	・各学部の専門科目のうち指定された科目 ※2

※1 選択必修科目(学際領域科目)は、キャンパスごとに異なっており、また年度により履修年次や開講曜日時限が変わりますので、履修する年度の所属キャンパスの『授業時間割 全学教育科目』を確認してください。

※2 「各学部の専門科目のうち指定された科目」の詳細は、『2026(令和8年度)全学教育科目履修案内』の「特別教育プログラムの履修について」を確認してください。

申し込み／  
問い合わせ先

地域連携推進課

(共通教育A棟0階)

✉ [kyouiku-renkei@adb.shizuoka.ac.jp](mailto:kyouiku-renkei@adb.shizuoka.ac.jp)

☎ 054-238-4377







国立大学法人

**静岡大学**

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836

**静岡大学全学教育基盤機構**